

大学生が物流業界について 勉強するため協会本部を訪問

立命館大学の学生3名が、12月5日に協会本部を訪問し、現在大学で研究している物流業界についての知識を深めるため勉強に訪れた。

学生からの質問事項は、

- ドライバーの一日について
- トラック業界の人材不足について
- 待ち時間と機械作業の実態について
- 自動運転技術について
- 女性雇用促進について

など現在の運送業界が抱える諸問題についての質問を受けた。

それに対し、当協会の齋藤一之常務理事、交通

環境部 佐藤高司部長から資料を交え、トラック業界の現状と課題について説明が行われた。

学生たちは、「とても分かりやすい説明をしていただきありがとうございました。大学での今後の勉強に役立ってます」と感謝し協会本部を後にした。

